

東京水道経営プラン2010（平成22～24年度）

Ⅱ 主要施策

● ● ● 主要施策の体系 ● ● ●

**安全でおいしい水の
安定的な供給**



安全でおいしい水の供給

安定給水

広域的な事業運営



多摩地区水道の広域的経営

国内外の水道事業者などとの連携

**お客さまサービスと
広報広聴の展開**



お客さまの利便性の向上

お客さまとの相互理解の推進

次世代を見据えた施策の推進



低炭素型事業運営システムへの転換

水道文化の継承

経営基盤の強化



一体的事業運営体制の推進

多様な経営管理手法の活用

- 高度浄水処理の着実な導入と都民への浸透
- 新しい水供給システムの構築
- 直結給水方式の普及促進
- 公立小中学校の水飲栓直結給水化モデル事業の推進
- 貯水槽水道の適正管理
- 利水安全度の向上
- 民有林のモデル購入
- 水道管路の耐震継手化緊急10ヵ年事業の推進
- 大規模浄水場更新代替施設の整備
- 大規模浄水場更新積立金の着実な積立
- 原水連絡管の二重化
- アセットマネジメントの活用
- 水道施設の耐震強化

- 多摩地区水道経営改善の着実な推進
- 奥多摩町水道事業の都営一元化
- 近隣水道事業者との連携
- 国際貢献の推進
- 多様な主体と連携した震災応急対策

- お客さまサービスの充実
- 給水装置工事の電子申請等の導入
- 効果的な広報施策の展開
- 親しまれる水道施設づくりの推進
- お客さまの声の施策への反映

- 低炭素型モデル浄水場の整備
- 新しい水供給システムの構築（再掲）
- 自然エネルギー・未利用エネルギーの活用
- 公立小中学校の水飲栓直結給水化モデル事業の推進（再掲）
- 水道キャラバンによる理解促進
- 玉川上水の整備保全

- 一体的事業運営体制の強化
- 国際貢献の推進（再掲）
- 業務指標を活用した目標管理
- 資産の有効活用
- 効果的な契約手法の導入
- 外部の専門的意見の反映